

小売企業の環境配慮活動の現状と課題

吉備国際大学国際環境経営学部環境経営学科 小田淳子

鳥取環境大学環境マネジメント学科 荒田鉄二

Keywords : 小売企業, 環境配慮取り組み, 環境マネジメントシステム, 循環型社会

1. 研究目的

地域社会の企業市民である小売業, 特にスーパーマーケット (SM) はメーカー・取引先と消費者を継ぐ立場にあり, 小売企業の経営活動が地域の消費者のライフスタイルに与える影響は大きい。循環型社会の構築を踏まえて, SM は日々の事業活動で店舗から発生する直接的な環境負荷の削減だけでなく, 社会全体の環境負荷削減に向けて小売業として何が出来るかという視点が必要である (図 1)。SM の環境配慮取り組みは製造企業に比べると日が浅く, 環境活動に熱心な企業は大手企業などに限られることが指摘されている。本研究では, 岡山県内の小売企業に着目し, 小売の本業と連動した環境配慮取り組みの方向とは如何にあるべきか, 県内小売企業の環境配慮取り組みの現状と課題から考察する。

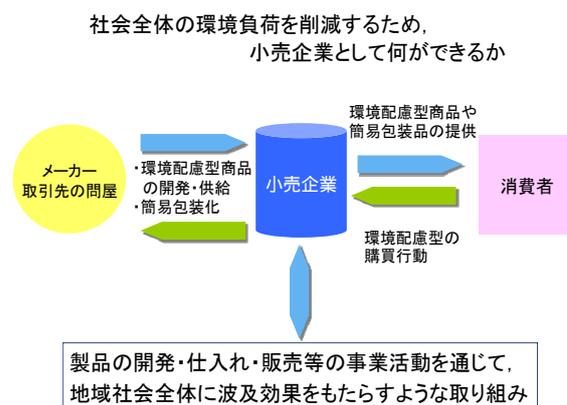


図 1. 小売企業に求められる役割

2. 方法及び概要

岡山県が3R推進施策で設けているエコ事業所認定小売店を対象に, 環境取り組みの認定項目に関する書面調査と取り組み実態に関する店頭調査を行った。回答のあった108店舗の主たる取り組みは, 再生品の販売促進, 容器包装類の店頭回収, 簡易包装, 量り売りバラ売り, 詰め替え商品の販売であるが, 店頭調査の結果から積極的な取り組みが窺われなかった。そこで, 県内に12店舗以上を有する小売企業9社に対して, 環境配慮取り組みの現状と課題に関して直接面談方式の聞き取り調査を行った。環境方針, 環境目標を明文化し, 環境担当部署を設置して外部向けの環境配慮取り組みを積極的に展開するのは大手小売企業と組合方式の2企業で, 他の小売企業は自社の環境負荷削減を中心に取り組んでいた。

先進的な環境配慮取り組みの事例調査のため, 中部・関東地域に店舗展開する小売企業1社を選定し環境配慮取り組みの聞き取り及び店舗の現地調査を行った。ここでは, 企業活動を通じた循環型社会実現のための貢献が環境理念として位置づけられており, 環境方針に「総合小売業としての務め, 市民・行政との協働, 環境目的・環境目標の設定, 従業員・市民への広い情報開示」を明文化し, 環境マネジメントシステムの導入・運用が確認された。このことが県内小売企業 (大規模展開と組合方式の小売企業を除く) に比べて, 小売りの本業に根差した環境配慮取り組みの積極的な要因になっていると考えられた。

3. 適用分野

今後, 小売企業のCSRで環境配慮取り組みが益々重要になることを考えると, 岡山県内の小売企業向け取り組みガイドラインの策定が必要であろう。本結果はその基礎的資料であり, ガイドラインが策定されることによって, 消費者の環境配慮行動を推し進めることが可能であるといえる。

本研究は, 財団法人八雲環境科学振興財団の2008年度環境研究助成 (一般研究) により行われた。